

JSPSサマー・プログラム2017

オリエンテーションにかかるコーディネート業務の企画競争仕様書

1. 企画競争の趣旨

国立大学法人総合研究大学院大学（以下「本学」という。）は、毎年日本学術振興会（以下「JSPS」という。）との業務委託契約に基づき、外国人特別研究員事業（以下「JSPSサマー・プログラム」という。）におけるオリエンテーションプログラム業務を請け負っている。JSPSサマー・プログラムは、欧米主要国の博士号取得前後の研究者を、夏期2ヶ月間、我が国に招致し、我が国の文化や研究システムに関するオリエンテーションと日本側受入研究者の下での研究機会を提供するものである。本事業の目的を円滑に遂行するため、本学が請け負うオリエンテーションプログラムは約1週間の日程で、各研究者（以下「フェロー」と称する。）の滞在期間中の充実した研究生活をサポートするプログラムを計画・実施する。当該業務はサポートの一環として日本人家庭でのホームステイを経験する機会を与え、また日本の文化を紹介し、日本に関する理解を深めることを目的とするものである。

以上のことから、企画競争を実施し、コーディネートを委託する者（以下、「受注者」という。）を選定する。

2. 企画競争に付する事項

(1) 名称

JSPSサマー・プログラム2017オリエンテーションにかかるコーディネート業務

(2) 業務期間

平成29年4月1日（土）～平成29年7月31日（月）

※日本文化紹介実施日 6月16日（金）予定

※ホームステイプログラム実施日 6月16日（金）～6月18日（日）予定

(3) 提案価格の上限額

2,200,000円（消費税額及び地方消費税額含む）

3. 業務内容

本業務は、業務は、フェロー116名（ただし、フェローの都合により若干の増減あり。5月頃確定予定）に対し、ホームステイプログラム及び日本文化紹介プログラムを提供するためのコーディネート業務であり、具体的には以下のとおりとなる。

I. ホームステイコーディネート業務

(1) 企画業務

(ア) ホームステイ体験を通し、一般家庭の中で直に日本文化に親しむことで、異文化適応能力を高め、2ヶ月間の日本での研究生活をより効果的に過ごせるよう全体のプログラムを企画すること。

(イ) 参加するホストファミリーには負担が少ないスケジュール及び事務手続きを提供

できるように企画すること。

(ウ) 本業務着手に先立ち、契約締結後速やかに実施計画書を作成し、本学の承認を得ること。

(2) 募集、選定業務

(ア) ホストファミリー募集、登録のためのWEB上案内ページを作成すること（4月上旬公開）。

(イ) 過去にホストファミリーとしてフェローを受け入れた経験者への募集呼びかけや、協力団体・行政機関への協力依頼、行政広報誌への募集告知掲載を通じた新規ホストファミリーを獲得すること。

(ウ) ホストファミリーの日本語能力、英語能力、家族構成等及びフェローの性別、日本語能力、趣味、アレルギーや食事制限に関する情報、各種要望等を踏まえたマッチング業務をおこなうこと。

(3) 準備、制作業務

(ア) ホームステイに関するホストファミリー向けFAQ問答集を作成すること。

(イ) 渡日前のフェローへのホームステイプログラム概要説明資料を提供すること。

(ウ) ホストファミリーリスト、及びマッチングリストの作成、事前提供（6月上旬までに本学へ提供すること）。

(4) 連絡調整業務

(ア) 受入ホストファミリーへホームステイ実施にあたり必要となるフェローに関する情報を提供すること。

(イ) 渡日前のフェローへホームステイ実施にあたり必要となる受入ホストファミリーに関する情報の提供。

(ウ) その他フェロー及び受入ホストファミリーとの連絡調整。

(5) 運營業務

(ア) ホームステイプログラム初日及び最終日に受付デスクを設営し、滞りなく受付、実施すること。

(イ) ホームステイプログラム初日に、フェローとホストファミリーの円滑な引き合わせを実施すること。

(ウ) ホストファミリーへの活動費(ホームステイ受入時の謝礼として4,000円程度を予定)の支払いを行うこと。なお、支払時には必ず受領書を徴収すること。

(エ) ホームステイプログラム最終日に、ホームステイプログラムを終えたフェローの受付を実施すること。

(オ) フェロー送迎中の不測の事故や遅延に関するホストファミリーからの緊急連絡

についても、本学の指示を仰ぎながら、適切に対応すること。

(6) 体制構築

- (ア) ホストファミリーの募集、選定、マッチング、ホームステイプログラムの実施、運営にかかる全般を管理する担当者を置くこと。
- (イ) 全体のホームステイプログラム実施期間中における連絡・対応体制の構築。緊急時においても連絡が取れ、迅速な対応が可能な体制であること。
- (ウ) フェローと調整するスタッフ及び緊急時の対応者については、英語での対応が可能であること。

(7) 報告業務

- (ア) ホームステイに関するアンケート(ホストファミリー向け及びフェロー向けの2種類)を作成し、本学の事前の了承を得た上で実施すること。
- (イ) 上記のアンケートを取りまとめ、その結果を文書で本学へ報告すること。

II. 日本文化紹介プログラムにかかるコーディネート

(1) 企画業務

- (ア) フェローが日本の伝統文化に親しむ機会となるよう、茶道、書道、折り紙等複数の日本文化体験の場を提供すること。
- (イ) ホームステイプログラムに参加のホストファミリーが早く来場した場合、フェローとの引き合わせの場ともなることを考慮し、円滑なプログラム運営が行えるよう、各種日本文化紹介の会場設営等を行うこと。なお、実施場所は、湘南国際村センター国際会議場である。
- (ウ) 海外からのフェローが参加者であることに考慮し、英語にて円滑にコミュニケーションが行われるよう、プログラムを設計すること。
- (エ) 本業務着手に先立ち、契約締結後速やかに実施計画書を作成し、本学の承認を得ること。

(2) 講師の選定、接遇

- (ア) 講師の選定を行い、事前に本学の承認を得ること。
- (イ) 講師(概算35名)の依頼、接遇、交通費の支弁を行うこと。
- (ウ) 講師(概算35名)の食事の手配・支弁を行うこと。

(3) 連絡調整

- (ア) 日本文化紹介プログラムの講師と連絡を取り、当日の運営について調整すること。
- (イ) 日本文化紹介プログラムに参加希望のホストファミリーの出欠をとりまとめ、

プログラム実施前に参加するホストファミリーのリストを本学へ提出すること。

(4) 運營業務

(ア) フェローに対して、日本の文化を紹介するプログラムを実施し、円滑な運営を行うこと。

(イ) フェローとホストファミリーとの引き合わせが円滑に行われるよう I の業務と一体的に運営すること

4. 提案していただく内容

(1) ホームステイコーディネート業務

上記3. に記載の I. ホームステイコーディネート業務に関する実施内容

(2) 日本文化紹介プログラムにかかるコーディネート

上記3. に記載の II. 日本文化紹介プログラムにかかるコーディネート業務に関する実施内容

(3) 本業務実施スケジュールについて

(4) 関連実績

(5) 提案見積金額

5. その他

(1) 本仕様書の内容は全て提案上必須要件であり、本件の趣旨に、より貢献する提案があれば、それも含めるものとする。

(2) ホストファミリー募集、交通費、各種資料作成・印刷費等、本業務実施にかかる経費はすべて請負金額に含めることとする。

(3) 受注者は業務を遂行するにあたり知り得た本学の機密情報を第三者に開示、漏洩しないものとする。

(4) 本仕様書に記載していない事項又は仕様について生じた疑義については、本学と協議の上、本学の指示に従うこと。